

県子連だより

社団法人宮城県子ども会育成連合会

平成25年4月8日発行

短信 No.23

仙台市宮城野区幸町4-5-1 022-299-0737

ごあいさつ

日ごろより、当会の運営ならびに子ども会育成事業にご協力いただき感謝申し上げます。

さて、平成13年以降から公益法人制度改革が進められ、平成18年に関連3法案が成立し、公布されました。これにより宮城県子ども会育成連合会は公益もしくは一般社団法人への移行が求められました。そこで県子連が行っている事業が公益目的事業として認められるかが大きな課題でありましたが、無事県より承諾をいただくことができました。

平成24年11月に臨時総会を開催し、会員の皆様に新定款変更をお認めいただき、それをもって平成24年12月に宮城県知事へ一般社団法人移行認定申請書を提出いたしました。

2月に認可がおり、平成25年4月1日の登記により『一般社団法人宮城県子ども会育成連合会』としてスタートいたしますことをご報告いたします。

平成25年4月1日 一般社団法人宮城県子ども会育成連合会

会長 中鉢義徳

～ 新定款での大きな変更点 ～

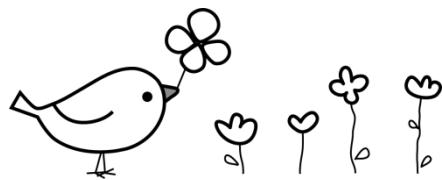
*代表理事の設置…会長及び副会長を代表理事とします。(これまでには、理事は皆平等でした)

*総会の回数…年1回(5月)の開催となります。(これまでには5月と3月に行っていました)

*事業計画案・予算案…理事会での決議事項となります。(これまでには総会の決議事項でした)

*保管書類…電磁的記録

上に掲げたものは一部のご紹介になります。法律にのっとり、その規定するところに合致するよう、専門家や指導官庁との摺り合わせを行ったうえで会員のみなさまにお認めいただき、新法人の定款が誕生いたしました。



県子連のホームページが変わります！！

一般社団法人 宮城県子ども会育成連合会

◆ プライバシーポリシー ◆ 協賛/広告出稿について ◆ お問い合わせ

HOME 子ども会とは 重点事業 お知らせ 子ども会Q&A オープンドキュメント利用促進



INFO インフォメーション

全国子ども会安全共済会が始まりました

平成24年4月1日より「全国子ども会安全共済会」は「全国子ども会安全共済会」になりました。より一層全国の子ども会活動のサポートに努めてまいります。

さらに詳しく

NEWS ニュース

2012.11.01	募集	全国子ども会育成中央会議 参加者募集要項はごちらから!
2012.11.01	ニュース	第46回(平成24年度)全国子ども会育成中央会議・研究大会 開催案内
2012.11.01	ダウンロード	10月1日以降の共済加入申込書様式を追加しました。
2012.11.01	募集	全国子ども会育成中央会議 参加者募集要項はごちらから!
2012.11.01	ニュース	第46回(平成24年度)全国子ども会育成中央会議・研究大会 開催案内
2012.11.01	ダウンロード	第46回(平成24年度)全国子ども会育成中央会議・研究大会 開催案内

検索

情報公開 業務・財務等についての資料がダウンロードできます

安全共済会 安全共済会の様式はこちらから!

研修・講習 全子連が主催する子ども会指導者の研修・講習

HOME | 子ども会とは | 重点事業 | お知らせ | 子ども会Q&A | オープンドキュメント利用促進

Copyright 1998-2013 NATIONAL FEDERATION of KODOMO-KAI. All Rights Reserved.

県子連をより身近に感じていただけるように・・・
さらに見やすく、使いやすく！！をモットーに、
タイムリーな情報を発信できるよう、装いも新たに準備中です。

～こんなふうに変わります～

*法人としての情報公開を積極的に行います。

*全国子ども会安全共済会の様式をダウンロードしてお使いいただけます。

*事業のお知らせや報告を定期的に行います。

アドレス または 宮城県子連

<http://www.kodomo-kai.or.jp/miyagi/>

検索

全国子ども会安全共済会に入ろう！！

新年度も安全共済会への加入を推進していきます。

加入関係費用は大人も子どもも同額で、ひとり年間 170 円（10月1日以降 160 円）
子ども会活動中の安全の確保はもちろんですが、事故が発生した時のための備えも
万全を期しておきましょう。

加入についてのお問い合わせは、各市町村子ども会育成会の窓口まで



事業報告

登米市で！！子ども育成フォーラム

栗駒おろしの厳しい風の吹く11月18日（日）午後1時より、登米市中田農村環境改善センターを会場に平成24年度子ども育成フォーラムが開催されました。

登米市内をはじめ県内各地より70名ほどの方々にご参加いただきました。

基調講演は、“～みやぎの志教育をめざして～”をテーマに、登米市立石越小学校 佐藤謙一校長の「青少年の体験活動と自立について」と題し、青少年期の体験活動がその後の生活に大きく関わってくるという趣旨のお話でした。

その後、登米市の米山丸山太鼓代表の久保康宏氏が太鼓演奏を通じ地域の子どもたちと親たちとの関わりを「子育て・親育て」と題して発表を行いました。

当日は子どもたちが栗原市で開催された「東北和太鼓共演大会」に出席中で、その審査結果が気になるところでしたが、見事に優勝との連絡が入り会場の皆さんから喜びの拍手が起きました。

また、南方教育事務所の木村和志氏から「南方地域の子ども会活動の様子」と、ジュニア・リーダー高橋勝太氏の「南方ボランティアサークル天の川」の活動の報告も併せて行われました。

会場には登米市内の子ども会やジュニア・リーダーの活動状況がパネルで展示されておりました。

今回のフォーラムは「登米市子ども会育成会連絡協議会」（熊谷卓郎会長）に準備・運営を行っていただきました。関係者のみなさまに心より感謝申し上げます。

平成25年度は栗原市での開催を予定しております。ぜひ、多くの皆様のご参加をお待ちしております。



～迫力ある太鼓演奏のようす～



～パネル展示～

子ども育成フォーラムが開催された同日、登米市浅水ふれあいセンターの体育館を会場に、県子連加盟市町村のジュニア・リーダー交流会が開催されました。

本事業は、23年度から新しく取り組みはじめた事業で、ジュニア・リーダーの活動をより活発にすること、そしてジュニア・リーダー同士が他市町村との交流を図ることで、横のネットワークを広げてほしいという思いからはじめました。

当日は48名のジュニア・リーダーが参加し、手遊びや「大漁おに」「けいどろ」「みんなおに」「くぐりおに」など数種類の鬼ごっこを楽しみました。午後はゲームを交えながら所属市町村の紹介を行い、その後はたっぷりとダンスに汗を流しました。

短い時間ではありましたが、交流を通して新たな友人と出会い、他市町村の活動のようすを吸収することができ、今後の活動にも更なる幅が広がったのではないかと思います。



表彰おめでとうございます



平成24年度 社団法人全国子ども会連合会表彰

(敬称略)

【奨励賞（設立40周年）】

・(社)宮城県子ども会育成連合会 昭和47年6月2日発足

【育成者および指導者の部】

・相澤 利雄（石巻市河南支部）

平成24年度 東北地区子ども会育成連絡協議会会長表彰

【ジュニア・リーダー組織】

・石巻市 ジュニア・リーダー・サークル げろっぱ

【指導者の部】

・佐藤 真紀子（塩竈市）・鈴木 香（登米市迫）・佐々木 市郎（石巻市河南支部）

【育成者の部】

日下 勝巳（石巻市石巻支部）

平成24年度 社会貢献青少年表彰（内閣府特命担当大臣表彰）

・南三陸町 ボランティアサークル「ぶらんこ」

お悩み相談・・・それでも前へ

ある日の昼下がり、県子連事務局の電話が鳴り響きました。子ども会役員さんからのお悩み相談です。

あなたならどうする？



Q: 子ども会の役員のなり手がなかなかいません。

人数も少なく、そもそも育成会はどう組織していくべきでしょうか？

A: 新年度がスタートし、こういった悩みをお持ちのかたがたくさんいらっしゃるのではないでしょうか。

「育成会」は地域に住む全ての大人の方を対象として組織されていますか？

①役員経験者に留任してもらう。②新たに役職を増やすなどして新規の役員とから合わない形で役員を継続してもらう。③過去の役員経験者に協力をお願いする。④子ども会に理解のある地域の人に役員や協力者になってもらう。

将来的に地域型の子ども会となる姿を目指し、まずは、できることからはじめてみてはいかがでしょうか。

事務局よりご連絡

3月末にて沼倉千晶が退職いたします。長い間皆様に大変お世話になりました。

後任に皆川美和が3月11日より勤務しております。

皆様のご指導をよろしくお願ひいたします。

編集後記 県子連だより No.23をお届します。新法人では情報公開が求められています。

様々な方法で県子連の情報をより一層発信していく所存です。そのためには「県子連だより」「ホームページ」を充実させ皆さまの地域の情報も発信したいと考えておりますので、各地の情報を県子連事務局までお寄せください。